西部農業
改良普及所

白ネギ産地を支える未来のリーダー育成
～若手農業者の成長を促すグループ活動支援～

活動期間：平成28年度～継続中

○高齢化が進む中で、弓浜地域でも新規就農者の育成が産地の重要課題である。
○更なる技術向上と、近隣農家との仲間づくりを目的に2つの自主活動組織が立ち上がった（境港市のグループA、米子市のグループB）。
○技術向上、仲間作りの促進を目的に、それぞれのグループの特色に合わせた活動支援・提案を行い、未来のリーダー育成を目指す。

具体的な成果

【境港市　グループA】
○ほ場巡回の開催
・グループでできた横のつながりを活かした日頃の情報交換や、ほ場巡回の中でのアドバイスにより、新規就農者の技術向上。
・お手本となる先輩若手農家を含む巡回を行うことで適期の栽培管理を早期に習得。

○新規メンバー加入の呼びかけ
・グループAの意識の高さや高い技術に触れることで、自分の経営を向上させようという意識が高まっている。
・大型農家の従業員も参加が増え、従業員を通した大型農家の技術向上に期待。

【米子市　グループB】
○ほ場巡回の開催
・より開放的なほ場で勉強会を開催し、会話が活発になった。
・実際にほ場に行くことで、除草・病害虫対策など今後の勉強課題の発見につながった。

写真：グループ巡回の様子

○グループワークの開催
・生産者が自分で記入するワークシートの活用や、グループワークの開催により、農家が自主的に参加しやすい雰囲気になった。

普及員の活動内容

【境港市　グループA】
○ほ場巡回の開催
・技術力の高い先輩若手農家に協力を依頼し、就農3年目までの新規就農者を対象に開催。普及所は当日の開催支援と技術資料の作成・配布を行った。
○新規メンバー加入の呼びかけ
・未加入の若手農業従事者へ、会員と手分けをして参加の呼びかけを行った。

【米子市　グループB】
○グループBに合わせた勉強会の提案
・継続してきた講義形式の座学に加えて、ほ場巡回の提案・開催支援を行った。
・農家が発言しやすいグループワーク形式の提案と、自主性を引き出すことを狙いとしたワークシートの作成を行った。

今後の普及活動に向けて

【境港市　グループA】
○周りの農家をまきこんだ活動展開
・相互の技術向上をより広い範囲で図る。

【米子市　グループB】
○自身の持てる技術力の習得
・農家同士が日常的にアドバイスし合える関係作りを目指す。

【2つのグループ共通】
○新規就農者を育てるグループになる
・就農希望者の研修や雇用を受け入れ、次世代の農家を育てるグループになる。